

**2025年3月22日(土)**  
**小仏城山 (670 m) おでんパーティー**  
～Report by 高橋(雄)～

高尾山の西隣の小仏城山。

ここは山頂に大きなテーブルがいくつもあって、鍋パーティーをやるのにうってつけの山である。

昨年4月6日にはクマさん会で豆乳鍋パーティーをやった。今年も春の鍋をここでやることになった。

今年の企画者は布目さん。企画するのは初めてで、何をやるか、どうやるか、登山ルートはいくつもある中でどれにするか、さんざん思案して、夜も眠れなかつたそうだ。ご苦労様でした。

思案の結果、鍋は「おでん」に決定。登山ルートは、昨年は小仏城山の北側の小仏バス停（標高283m）から登り、標高差387mを上ったが、それより楽にすべく、今年は反対の南側の大垂水バス停（標高400m）から登り、標高差270mを上ることにした。昨年より117m登らなくて済む。

参加者は、熊本さん、布目さん、池戸さん、安部さん、根岸さん、田上さん、大瀧さん、私の8人。



朝、8:25

JR中央本線相模湖駅の2番バス乗り場。  
快晴で風もほとんどない。

予定では8:30集合としていたが、みんな早めの電車で来ていた、集合時刻前にバス停の先頭の方に8人全員が揃って並んだ。



8:39 バスが相模湖駅を出発。

乗客は殆どが登山客で、満席。我々は全員が座れた。

8:55 大垂水バス停着。

殆どの乗客がここで降りた。

荷物を分担したり、支度を整えて



9:00 登山開始。

いきなりの急登だ。

ジグザグに上がって行く。

鍋用の道具、おでんの材料やつゆ、お湯や水などで重くなつたザックがずっしりと肩に食い込む。



先頭は熊本さん。  
一番若い大瀧さんは笑顔で進む。

今回の GPS 軌跡

GPS  
04:06

距離  
5.1 km

↑ 登り  
292 m

↓ 下り  
313 m

地図表示設定

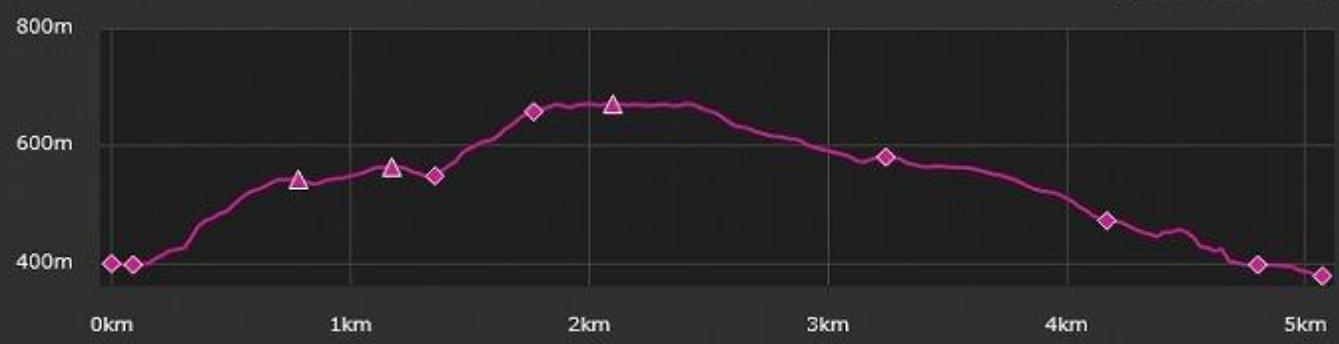
地図出力/その他の機能

アクセスを調べる

my出発地登録



標高グラフを拡大





急登を 30 分程登りきると春日山。そこから雷岩山までは平坦な尾根道となる。  
雪が少し残っているところもあった。  
道はちょっと泥濘もあったが苦にならない程度。去年と違って南側だからか？



9:46 雷岩山。563m  
ベンチがあったので小休止。

9:52 山頂めざして出発。  
行程残りの高低差 100m を上る。



10:14  
最年長の熊本さんがトップで山頂着。  
予定では 10:30 を見込んでいたので  
16 分早い。  
鍋パーティー用のテーブルを確保すべく  
頑張ったとのこと。  
最もいい場所のテーブルを一つ押さえてく  
れていた。ありがとうございました。  
池戸さん、田上さんも到着して鍋の準備に  
とりかかり始めた。



後続部隊も次々に到着。



ほどなく隣のテーブルもちょうど空いたので、そちらも占領し、4人ずつの2テーブルで鍋の準備を進めた。



南西方向には富士山が、黄砂か花粉で霞んでいるものの、きれいに見えていた。  
3日前に降った雪で化粧もばっちり！

おでん鍋をつくり始める前に、根岸さん持参のワインで先ずは乾杯！



熊本さん、池戸さん、布目さん、大瀧さん  
チーム



安部さん、根岸さん、田上さん、私チーム  
それぞれコンロに着火して鍋スタート。



おでんが温まるまで、安部さん調達のおつまみ類や、布目さん持参の自家製茹でピナッツなどでお酒をちびりちびり。  
お酒は純米大吟醸の生酒。  
720ml 税込み 977 円。  
昨年の忘年会の「京姫」と同類の、1000 円純米大吟醸酒。  
私が調達したが、評判は上々で、ひと安堵。



鍋が熱くなり、いよいよ本命のおでんタイムに突入。  
ゆで卵、大根、ちくわ、昆布、白滝、こんにゃく、つみれ、さつま揚げ、餅入りお揚げ、はんぺん等々で、なにしろどっさり。



膨大な量のおでんを一人 3~4杯はお腹に入れた。  
〆は田上さん調達のうどん。布目さん持参の、これまた自家製の花つき小松菜、ネギを入れたスペシャル版だ。



大量にあったおでんとうどん。一時は周りの人に売ろうかという話も出たが、メンバー8人でしっかり完食。

最も貢献したのは抜群のキャパシティを誇る田上さん。



おでん鍋を十二分に満喫した後は恒例の山頂写真。



テーブルの上の諸器材を撤収し、予定通り12:00 下山開始。

東方向の高尾山経由でケーブル駅を目指した。



12:16

一丁平展望台。

富士山が見える場所なのだが、霞が増してほとんど見えなくなっていた。



東屋で小休止。

布目さんがぐったり・・

お酒が回ったようだ。

企画したおでん鍋が無事成功してどっと  
気が緩んだもあるかも？



高尾山方面へ行き来するハイカーは多い。  
この分では下山後に予定した京王高尾山口  
の温泉、「[極楽湯](#)」は混雑が予想される。  
そこで予定を変更して、大垂水峠へ下り、  
昨年と同じ相模湖 MORIMORI の温泉、  
[「うるり」](#)へ行くことにした。



大垂水峠へ向けて整備された道をスタスタ  
と快調に下山。



スミレが目に止まった。



12:53

大垂水峠着。



下山口から 120m ほど高尾寄りに下ったところにバス停がある。ここがゴール。

相模湖行きのバスは 13:39。

40 分以上待たなければならない。

タクシーGO アプリでタクシーを呼んでみた。しかし 30 分たってもタクシーがつかまらない。結局タクシーGO はキャンセルしてバスを待った。

だが、バスも 13:39 になっても来ない。温泉「うるり」へは相模湖駅でバスを乗り継ぐ必要がある。その乗り継ぎのバスは相模湖駅発 14:07。それに間に合うか？やきもきした。バスは 11 分遅れて 13:50 にやっと来た。



バスは 14:05 相模湖駅着。

乗り継ぎのバスにぎりぎり間に合った！



相模湖 MORIMORI に向かうバスは大勢の若いカップルですでに満員。我々はギリギリで駆け込んだので立ったままだったが、布目さんと安部さんは優先席に座れた。



14:15 相模湖 MORIMORI バス停着。  
そこから温泉「うるり」まで 5 分ほど坂を登って(これが疲れた身にはちとつらい・・)  
到着。

読み通りそんなに混んでおらず、体が芯から温まる高濃度炭酸泉などで 1 時間ほど入浴。



15:30 に温泉を出て  
15:40 発のバスで相模湖駅へ。

相模湖駅着 15:51。15:54 に東京行きの電車があるが、それには間に合わず、次の 16:22 の高尾行きを待つ。待ち時間が 30 分ほどあるのでホームの待合室に入った。しかし日が差し込んで温室状態。暑いので待合室を出てホームのベンチへ。そこで本日のおでん鍋の諸費用を精算。

高尾で東京行きの快速電車に乗り換え。熊本さんは 1 本あとの特別快速で帰ることで、そこで解散となつた。

終日快晴で、おでん鍋も満喫できた山行でした。皆様、特に企画者の布目さん、お疲れ様でした。